

## 答辞

肌寒い風が吹きつつも、温かい日差しが私たちを照らす今日この日、私たちのために心のこもった式典を挙げてくださり、ありがとうございます。

また、ご多忙の中ご出席くださいました校長先生をはじめ先生方、ご来賓の皆様、保護者の皆様、ご親族の皆様、生徒会執行部の皆さん、卒業生を代表して心より感謝申し上げます。

皆様から頂いた数々のお祝いや激励のお言葉を胸に、本日、私たち 239 名は卒業します。

三年前の春、私たちは新しい環境に沢山の期待と少しの不安を抱え、法政高校に入学しました。入学当初、世間ではまだ新型コロナウイルスが流行しており、マスク着用の必要がある中で、私達の高校生活がスタートしました。初めはマスクをつけなければいけなかったこともあってみんなの顔と名前もなかなか一致しませんでした。それでも、普段の学校生活や行事などを通じて、入学時の不安をかき消すほど仲良くなれました。毎日授業を受けて、休み時間にたわいもない話をして笑って、グラウンドが真っ暗になるまで部活を頑張ったり、行事で学年の枠を超え学校全体で盛り上がりだったり、休みの日に遊びに行ったりした、当たり前前の日常は色あせることのない私たちの青春です。

そんな私たちの3年間で笑顔で楽しい記憶で溢れているのは、いつだって先生方が暖かく見守ってくれたからです。私たちが学校生活の中で困ったり、迷ったりしたときに一緒に悩んでくださったり、本気で向き合ってくださいたり、一緒に笑ってくださった時間は、私たちが大きく成長させただけでなく、新しいことにチャレンジしていくきっかけにもなりました。3年間、私たちのことを様々な面で支えてくださり、ありがとうございました。

そして、私たちの最高の三年間を、どんな時も一番近くで支え続けてくれた両親へ、少し砕けたものになってしまいますが、私たちの心からの言葉を伝えさせてください。

毎日、朝早く起きてお弁当を用意してくれてありがとう。どんなときでも味方でいてくれてありがとう。迷ったとき、背中を押してくれてありがとう。これからも、私たちが自分らしく歩いていく道を一番近くで見守ってください。

そして、いつか、恩返しをさせてください。

最後に改めて、たくさんの時間を、思い出を共有した最高のみんなへ。

写真を見返しながら高校生活を振り返ったとき、楽しい思い出にはいつだってみんながいました。登校日が少なくてみんなとなかなか会えない3学期が、物足りなくて仕方がなかった。3年間、本当にありがとう。みんなと過ごした日々は私の自慢で、宝物です。

法政高校での楽しかったこと、悔しかったこと、悲しかったこと、嬉しかったこと、努力したこと、ときどき先生に怒られたこと、友達や先生と笑いあったこと、そのヒトツヒトツが、今の私たちを作り、彩っています。そして、この先の人生で躓いたときに思い出し、支えてくれると信じています。

この学び舎がいつまでも、幸せな思い出と、たくさんの笑顔で溢れますように。

法政高校のますますのご発展を心より祈念して答辞とさせていただきます。

二〇二四年 三月九日

卒業生代表 花島 啓太